

平成22年度授業計画

東京都立小石川中等教育学校

教 科		国語	科目名	現代文	単位数 (予定授業時間)	2 (78)
使用教科書		精選現代文 改訂版 (筑摩書房)		授業形態 ・学年	第5学年4クラス クラス単位	
科目の目標		①小説、詩歌と評論などを主体的に読み、確かな読解力を養い、自ら主体的に話したり聞いたりするとともに、自己の考えを論理的に書く能力を高める。 ②新書等の月間読書課題を通して、読書力を身に付け、社会的諸問題への意識を高める。				
授 業 内 容 と 主 な 教 材	一学期	随想・小説・評論の単元を通して自己を見つめ、他者を発見し、その間で自分の思いをいかに表現するかを学ぶ。 「ニワシドリの庭」(加藤幸子) 「場所と経験」(柄谷行人) 「記録すること、表現すること」 (川田順造) 「みどりのゆび」(吉本ばなな) 「山月記」(中島 敦) 「ある少女の眼」(加藤周一)		教科書教材の発展的な学習として、関連性のある副読本の現代評論を読解し、確かな読解力を身に付ける。 「地球全体主義の問題」(加藤尚武) 「エクソフォニーは常識」(多和田葉子) 「中島敦の『虎』」		
	二学期	「ことばの宇宙」(浜田寿美男) 「共生システム」(西垣 通) 「手をみつめる」(市川 浩) 「こころ」(夏目漱石) 「堀端の住まい」(志賀直哉) 「詩歌」		「『発達』の視線」(浜田寿美男) 「『こころ』の主題 明示の精神について」 (三好行雄)		
	三学期	「映画という反復の快樂」 (長谷正人) 「『であること』と『すること』」 (丸山真男) 「陰影礼賛」(谷崎潤一郎)		「アメリカで『源氏物語』を教える」 (ハルオ・シラネ)		
評価のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会や人間などにまつわるさまざまな問題を取り扱った現代評論を正確に読解し、自己の考えを論理的に表現することができたか。 ・小説や現代詩、短歌や俳句を読み味わい、描かれた心情や表現の特色などについて、的確に読み取ることができたか。 ・自己の考えを、論理的に説明したり、文章表現することができたか。 				

教科名		国語	科目名	古典	単位数 (予定授業時間)	3 (117)
使用教科書		高等学校改訂版古典 (第一学習社)		授業形態・学年	第5学年4クラス 古文(2時間)=2クラス3展開 漢文(1時間)=クラス単位	
科目の目標		古典の文章について、読解・鑑賞の方法を修得し、ものの見方、考え方を深め、また、言語感覚を高めて表現を豊かにできるようにする。				
授 業 内 容 と 主 な 教 材	一学期	(古文) ・説話文学のおもしろさを知り、古典への興味をさらに深める。 ・随筆を読み、筆者のものの見方、考え方の特色を理解する。 ・平安前期の物語を読み、初期仮名文字散文の特色と魅力を味わう。 (漢文) ・故事・寓話・古代の史話を通して助字や語法に慣れ、正確に口語訳できるようにする。		「宇治拾遺物語」 「古今著聞集」 「十訓抄」 「徒然草」 「方丈記」 「竹取物語」 「伊勢物語」 「大和物語」 「蛇足」「助長」などの故事・寓話 「赤壁の戦」などの史話		
	二学期	(古文) ・枕草子の特徴を知り、王朝文化への理解を深める。 ・中古～中世の物語を読み、当時の文化への理解を深めるとともに、文法や敬語についての十分な知識を身につけ、古文の読解に役立てる。 (漢文) ・漢詩を読み、古体詩から近体詩へと続く中国の詩の流れを理解し、詩の世界を味わう。 ・志怪と伝奇を読み、話の不思議さを味わい、古代中国人の豊かな想像力と社会状況に触れる。		「枕草子」 「源氏物語」 「大鏡」 「平家物語」 「義経記」 「独坐敬亭山」「秋風引」等の漢詩 「白水素女」 「枕中記」		
	三学期	(古文) ・日記文学の持つ自照性など、その特質を理解させながら読解させる。 ・和歌・俳諧を読み、その特徴と作者ごとの作風を理解させ、それぞれの世界を味わわせる。 (漢文) ・史記を読みその壮大な歴史観を味わう ・儒家の思想に触れ、その論理や日本への影響について知る。 ・随筆・紀行文の面白さを理解する。		「更級日記」 「建礼門院右京大夫集」 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」 「春夏秋冬」 「鴻門之会」 「四面楚歌」 「論語」 「孟子」 「医菓談笑」など		
評価のポイント		・古文の基本的文法・敬語を理解できたか。 ・古文に描かれる時代の文化を、現代日本の文化と関係させながら理解できたか。 ・漢文の助字や語法を理解できたか。 ・漢文の独特な世界を、その論理も含めて理解できたか。				